

「農地パトロール」による現状把握と 農地の有効活用に向けて

野迫川村農業委員会

1. 野迫川村の農業の概要

野迫川村は、奈良県の西南端に位置しています。総面積の9割以上を山林や清流などが占め、和歌山県との県域で高野龍神国定公園に指定されるなど、四季折々の美しい自然が形成されています。

また、村の北部は、宗教的・観光的に有名な信仰の山「高野山」に接し、奥高野と呼ばれており、貴重な歴史的資源が豊富な村でもあります。

野迫川村の農業は、自家栽培・自家消費の零細な農業がほとんどを占めています。高齢化などによる担い手不足や獣害などで、遊休農地が多く見られ大きな課題といえます。農地の有効利用に向けた対策が急務となっています。

2. 農業委員会の取り組み

①具体的な取り組み内容

野迫川村管内の農地は、担い手の高齢化や獣害などが要因となり耕作に供されない農地が目立つようになってきました。野迫川村農業委員会では、管内農地の現状を把握し、遊休農地の発生防止・解消対策につなげるため「農地パトロール」を実施しました。調査結果に基づき、今後の対策を検討しています。

②取り組みに当たった課題

村内農業者の耕作反別は非常に小さく、そのほとんどが自家消費用として栽培されている状況です。農業（農地）の担い手もおらず、遊休農地の解消に向けての大きな課題といえます。最近では、イノシシやサル・シカといった有害鳥獣に農地が荒らされる被害も多発し、農業者の営農意欲の減退につながっています。

③課題への対応方策

今後遊休農地の解消に向けた啓発などの活動が必要です。村民と一体となり農地の有効活用に向けた取り組みを進めていきます。

